

## 教育学的面よりみた病患児のあるべき 生活様式の設定のための予備調査

### 1) 施設, および医療機関, 家庭における教育指導のためのアンケート調査

慢性腎疾患患児の生活指導のための予備調査として(別紙2)の如きアンケート調査用紙(施設・医療機関宛)を作成し, 施設においては医療従事者(医師, 看護婦)と教育指導者にそれぞれ記入して貰い, 医療機関にあっては医師, および看護婦に記入を依頼した。

また(別紙3)の患児, およびその保護者宛のアンケートも作成し, 記入を依頼した。

これらはまず現実の実態を把握することが目的である。(別紙3)については67例の回答を現在までに得ているが, 全国的に知る必要があり, 目下, 対象を選択中である。

保護者からの患児の生活指導について「手引書のような指導書が欲しい」。「躰, 教育, 性の問題について強い指導要望があり」。「勉強に対する強い要望」。「服薬が完全に行われていない」などの回答があった。

今後の課題として, ①適当な施設を定点として実験的検討を加える。②医療従事者が患児にある制限(たとえば安静)を加えた時の児の反応, ③透析患児の教育法, ④心理面での検討が必要と思われ, 心理面の研究者を班員として加える必要がある。⑤manualの作成へのデータの集積等が論議された。

昭和55年度における調査, 研究の結果より ①症例原簿の作成, ②アンケートの実施, ③対象症例の増員, ④施設定点の設定を課題として指摘し, 次年度6月に班研究検討会を開くこととした。

附記: 本研究に関する予備的研究に係る下記文献を8部添付する。

#### 論文雑誌

- |   |   |
|---|---|
| 1) 小児の急性糸球体腎炎<br>総合臨牀 Vol. 29, 増刊号, 1980, 3月<br>永井書店 堺 薫 他                            | 5) 小児の腎臓病<br>治療 Vol. 62, No. 12, 1980, 12月<br>南山堂 北川照男 他                                |
| 2) 小児腎炎——最近の知見より——<br>臨牀と研究 Vol. 57, 2号 1980, 2月<br>大道学館出版部 堺 薫 他                     | 6) 小児の微小血尿とタンパク尿<br>内科 45巻5号 昭55, 5月<br>南江堂 北川照男  |
| 3) 慢性に経過する小児腎炎<br>日本小児科学会雑誌 83巻7号, 1979, 7月<br>日本小児科学会 北川照男                           | 7) わが国における小児腎不全患児の実態<br>小児科 21巻6号 昭55, 6月<br>金原出版 北川照男                                  |
| 4) 腎不全に基づく在宅心身障害児の調査報告<br>——わが国の腎不全患児の実態——<br>小児保健研究 38巻2号, 1979, 7月<br>日本小児保健協会 北川照男 | 8) 小児期に発症し成人まで持続する腎疾患<br>——とくに慢性腎炎について——<br>小児内科 Vol. 12, No. 3, 1980, 3月<br>東京医学社 山口正司 |

## 小児慢性腎疾患患児の生活指導 調査票 A （施設・医療機関向け）

医療機関については医療従事者が、施設については医療従事者と教育指導者の双方がそれぞれ独自に1部ずつ記入して下さい。

1. 施設・医療機関の名称（ ）

2. 記入者の職

ア. 医療従事者

イ. 教育指導者

ウ. その他（ ）

3. 医療従事者および教育指導者の数

医療従事者数 男（ 名） 女（ 名） 計（ 名）

教育指導者数 男（ 名） 女（ 名） 計（ 名）

4. 患児の数

年 令	男	女	計	年 令	男	女	計
0				9			
1				10			
2				11			
3				12			
4				13			
5				14			
6				15			
7							
8				計			

## 5. 生活指導について

- (1) ア. 特に力を入れている
  - イ. 普通
  - ウ. あまり力を入れていない
  
- (2) ア. 担当者を置き、それにまかせている
  - イ. 全員が当たるが、責任者を置いている
  - ウ. 全員が当たり、責任者は置いていない
  - エ. まったく自由になっている
  
- (3) ア. 指針を定めている（注1）
  - イ. 特に指針を定めてはいない
  
- (4) ア. 指導は主として文書による（注2）
  - イ. 指導は主として口頭による（注3）
  - ウ. 指導は文書と口頭の両方による（注4）
  
- (5) （注5）
  - ア. 結果は顕著である
  - イ. 結果は悪くはない
  - ウ. 結果は事例によって差が大きい
  - エ. 結果はよくわからない

## 6. 生活指導の問題点について（M.A.）

- ア. 信頼できる指針がない
- イ. 患児が指導に従わない
- ウ. 家族の協力が足りない
- エ. 指導者（医師を含む）が多忙で十分な指導ができない
- オ. その他

（

7. 医療従事者または教育指導者それぞれの内部での、コミュニケーションについて

(1) 協議の機会について

- ア. 毎日
- イ. 週2～3回
- ウ. 週1回程度
- エ. 月2回程度
- オ. 月1回程度
- カ. 随時不定期に
- キ. ほとんど行なわない

(2) 協議の時間について

- ア. 30分以内
- イ. 30分～1時間
- ウ. 1～2時間
- エ. 2～3時間
- オ. 3時間以上

(3) 協議の成果について

- ア. 非常に有効である
- イ. 有効である
- ウ. あまり有効でない

(4) 問題点について

[ ]

## 8. 医療従事者と教育指導者との間における相互のコミュニケーションについて

## (1) 相互（あるいは合同）協議の機会について

- ア. 毎日
- イ. 週2～3回
- ウ. 週1回程度
- エ. 月2回程度
- オ. 月1回程度
- カ. 随時不定期に
- キ. ほとんど行なわない

## (2) 協議の時間について

- ア. 30分以内
- イ. 30分～1時間
- ウ. 1～2時間
- エ. 2～3時間
- オ. 3時間以上

## (3) 協議の成果について

- ア. 非常に有効である
- イ. 有効である
- ウ. あまり有効でない

## (4) 問題点について（M. A.）

- ア. 多忙で時間がとれない
- イ. 双方の立場が違いすぎる
- ウ. その他

[ ]

9. 生活指導上の事例や提言があれば、自由にお書き下さい

[ ]

10. 学習（教科）指導について（注6）

- ア. おおむね順調である
- イ. 教師の不足、多忙で十分な指導ができない
- ウ. 患児の健康が学習に耐えられない
- エ. 患児の意欲が足りない
- オ. 家族の理解が足りない
- カ. その他

[ ]

~~~~~

- 注
- 1. 「指針」を添付して下さい
  - 2. 「文書」を添付して下さい
  - 3. 指導内容の「メモ」を添付して下さい
  - 4. 「文書」と「メモ」を添付して下さい
  - 5. ここでいう「結果」は病像についてのものではなく、主として指導内容の実施状況についてのものです
  - 6. カラキュラム（教育課程）および、指導時間割があれば、添付して下さい



## 5. 生活管理・生活指導について

(1) お宅では先生（医師・教師など）の指示に従って実行していますか

- ア. きびしく実行している
- イ. だいたい実行している
- ウ. あまり実行していない

(2) その結果はどうですか

- ア. 大変よいと思う
- イ. まあまあである
- ウ. あまりよくない

(3) 先生の指示について

- ア. もっといろいろと、はっきり指示してほしい
- イ. 今の程度がいい
- ウ. あまりやかましくいわずにまかせてほしい
- エ. その他

[ ]

(4) お子さんの生活指導上、何に困っていますか（いくつでも）

- ア. 子どもがふびんである
- イ. 子どもがいうことをきかない
- ウ. どうさせるのがいいかわからない
- エ. その他

[ ]



(5) あなたは お子さんに健康の回復以外に何を望みますか

- ア. 健康な子どもと同程度の学力その他の能力
- イ. 健康な子どもに少しでも近い学力その他の能力
- ウ. 健康な子どもとはちがっても、ちゃんと暮らせる能力
- エ. 能力は問題にせず、明るく楽しく過させたい
- オ. なるべく負担にならぬよう、何も要求したくない
- カ. そ の 他

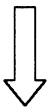
【お子さんにきいて下さい】

6. あなたは、健康になることのほか、何を望みますか

- ア. 健康な子に負けない勉強や生活
- イ. 健康な子に少しでも近い勉強や生活
- ウ. 健康な子とはちがっても、ちゃんと暮せる生活
- エ. とにかく楽しく過ごせればいい
- オ. 病気と戦うのが精一杯なので、ほかのことはしたくない
- カ. そ の 他



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



1)施設,および医療機関,家庭における教育指導のためのアンケート調査

慢性腎疾患患児の生活指導のための予備調査として(別紙 2)の如きアンケート調査用紙(施設・医療機関宛)を作成し,施設においては医療従事者(医師,看護婦)と教育指導者にそれぞれ記入して貰い,医療機関にあっては医師,および看護婦に記入を依頼した。